

仙台保健福祉専門学校 令和3年度学校関係者評価委員会 報告

学校法人菅原学園 仙台保健福祉専門学校では、本校規定に基づき、令和4年6月28日に、学校関係者評価委員会を開催いたしました。内容につきましては以下の通りご報告いたします。

今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、各委員からのご意見やご指導を真摯に受け止め、教職員一同努力してまいります。

1. 日 時 令和4年6月28日（火）15:00～15:40
2. 場 所 仙台保健福祉専門学校
3. 出席者

【令和4年度 学校関係者評価委員】

	氏 名	所 属 団 体	備 考
1	盛合 保仁 先生	社会医療法人康陽会 中嶋病院 リハビリテーション部 課長	理学療法科 作業療法科
2	山田 恵子 先生	やまだけいこ歯科クリニック 院長	歯科衛生科
3	大塚 涼子 先生	社会福祉協議会 ラ・サール会 児童養護施設ラ・サールホーム施設長	こども科

【学校教職員】

校長：眞柳 秀昭 副校長：熊谷 孝一 教頭：横山 さゆり
理学療法科科长：山田 剛 作業療法科科长：佐藤 元彦
歯科衛生科科长：菊地 千代子 こども科科长：工藤 愛美

4. 次第

- (1) 開 会
- (2) 開会挨拶 校 長 眞柳 秀昭
- (3) 議長選出 議 長 大塚 涼子
- (4) 令和3年度自己評価報告 副校長 熊谷 孝一
- (5) 討議・意見交換 各委員
- (6) その他
- (7) 閉会挨拶 校 長 眞柳 秀昭
- (8) 閉会

5. 令和3年度自己評価結果とご意見に対する対応

(1) 教育理念・目標

作業療法科・歯科衛生科の卒業生全員は国家試験に合格し、理学療法科の卒業生は合格率 93. という好成績を収めた。またこども科の卒業生も卒業と同時に保育士の国家資格を全員取得できた。また資格取得分野に全員が就職できたので、本校の教育目標や育成人材等を意識した教育の成果と考える。

(2) 学校運営

教育活動に関する情報公開は引き続きホームページ上や広報物で行われている。今年度も新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響を心配していたが、学生募集では募集期間半ばで定員となり募集を打ち切った科もあった。Web 環境を整備する工事を行い、オンラインでの授業や学生募集活動、就職活動に活かされている。

(3) 教育活動

前年度よりコロナ禍での教育が順調に行われた。制限はあったものの臨床実習も徐々に戻りつつあり、授業もハイブリット型で滞りなく年間計画を実施することができた。授業評価が学校として統一されておらず、今後の課題となっている。また養成所指定規則の変更等に対応した教育内容とし、専任教員の質の向上と学生の資格取得に向けて学校が一丸となり取り組んでいく。

(4) 学習成果

理学療法科・作業療法科・歯科衛生科の3科すべてが国家試験合格率は良好であり、学習成果の表れと言える。また資格取得分野への就職率は100%であった。退学率の低減に向けて個々の状況に応じた対応を継続していく。

(5) 学生支援

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染の影響により、アルバイトの求人がない・アルバイトの日数が減少した学生が多く、経済的にも厳しい学生がいた。国からの緊急支援給付金の支給や、日本学生支援機構の新型コロナウイルス感染症補助金を申請し、学食とタイアップした食券の支給が学生から大変好評であった。

また学園として新型コロナワクチンの職域接種を行ったことで接種率が向上し、感染予防対策の1つとなった。さらにワクチン接種の可否や経過報告で保護者と教員の連携が深まった。

(6) 教育環境

新型コロナウイルス感染症への対策として健康行動記録・検温・手指の消毒・三密防止・黙食指導を継続している。地震に対する防災対策として避難訓練や仙台市のシェイクアウト訓練に積極的に参加した。

(7) 学生募集

昨年同様、オープンキャンパスの開催がコロナ禍で中止・縮小を余儀なくされた。また高校でのガイダンスも中止となり、思うような募集活動ができなかった。対応策として積極的に Web での個別相談会を積極的に受け入れた。

(8) 財務

学園の HP 上で公開している。建物・備品等の経年劣化が認められる場合は、早急に補修や入れ替えを検討しているので、改修費用が必要と考える。また、学生募集については引き続き重点目標として取り組む。

(9) 法令遵守

本校の教育は厚生労働省の養成課程であり、法令・設置基準の遵守と適正な運営を行っている。また、自己評価結果はホームページ上で公開している。

(10) 社会貢献・地域貢献

コロナ禍によりボランティア活動への参加ができなかった。

社会貢献・地域貢献として、介護用品を研修事業者に貸し出し人材育成の一助となった。また校舎を国家試験会場とて貸し出しコロナ禍での会場確保に貢献できた。

委員よりコロナ禍で実習受け入れる側も制限があり十分な実習を提供できなかったが、学生への影響について問われた。教員より今春就職した卒業生から特に相談やトラブルの報告は受けていないことと、就職先で新人研修が十分行われていることが考えられると報告した。また幼児教育ではマスク装着で表情の読み取りが難しい面があり、学生の表現力を向上させる必要性が出てきたと報告があった。学生募集では、国家試験の合格率が重要なのでそこを積極的 PR するようアドバイスをいただいた。

総括：令和3年度も新型コロナウイルス感染症への対応とワクチン接種及び副反応の対応に追われたが、陽性者も数人で済み安堵している。

今後も国家試験合格率は100%を目標とし、安心と安全を提供できる学習環境となるよう努めて行く